

もよう
模様

え か
絵を描く

いんしょうは
印象派

→しぜんのふうけいの光や空気のへんかをあかるい色でかいた画家(がか)の人たち。モネとか。



やじゅうは
野獣派



→本物そっくりじゃなくて、あざやかでワクワクする色で思いきりじゆうに描いた画家の人たち



うきよえ
浮世絵



→むかしの日本で大人気だった、ポスターやマンガみたいな絵

へきが
壁画

→壁や天井にたおおきな絵

がざい
画材



かんしょう
鑑賞する

えまきもの
絵巻物



ふうけいが
風景画



→ふうけい、けしきを描いた絵

絵をかざる

デザイン

まる・
さんかく・
しかく

てんらんかい
展覧会

→さくひんてんのこと

せいぶつが
静物画



→花びんの花やくだものなどうごかないものを描いた絵

びじゅつかん
美術館

めいが
名画

→何百年たってもみんなにあいされるとくべつな絵



てんびょう
点描



→色のでんでんだけで描いた絵

色とりどり

→たかさんの色がにぎやかにあること

がか
画家

かんさつ
観察する

アトリエ

ふで
筆でぬる

かちょうふうげつ
花鳥風月

→しぜんのきれいなものを楽しむこと
花、鳥(とり)、風(かぜ)…そよ風や季節の風、月など